



国際ファイトニュートリエント学会 (Global Phytonutrient Society)

第一回シンポジウムと委員によるパネル討議のご案内

各位

近年、植物由来のphytonutrientの健康増進機能がグローバルに注目されています。ここに、国際ファイトニュートリエント学会を設立し、それらの持つ機能性を人々の健康維持や増進に役立てていくことが非常に重要なことです。折しも、世界各国では、超高齢化社会が訪れつつあり、日本はその先頭を走っています。こうした社会の出現に備えて、健康を維持・増進することは、健康寿命の延伸と医療費の削減など、社会的な問題の解決に大きな可能性を秘めていると言ってよいでしょう。しかし、こうした有望な植物由来の成分については、各国で伝統的に摂取されていたり、多くの学会でバラバラに発表されていたり、研究成果を一同に会して討論し合うことができていませんでした。この学会は、こうした問題を解決し、この分野に詳しい世界中の識者が一堂に会して議論を深めることで、多くの有益な研究情報を共有し、さらなる研究の発展や消費者や使用者の啓発・教育活動に使っていくことができると考えています。今回はその設立にあたり、第一回目の記念すべきシンポジウムと委員によるパネル討議を東京で行うこととなりました。各位におかれましては、本シンポジウムと委員によるパネル討論に積極的にご参加いただき、この分野のさらなる発展にご協力とご参加をお願いいたします。

【ミニシンポジウムプログラム概要】 ※同時通訳方式 ※参加費無料

日時：11月28日(月) 13:00~15:00 (受付12:00~)

会場：KKRホテル 東京

東京都千代田区大手町1-4-1

主催：国際ファイトニュートリエント学会 (事務局：東北大学農学部)

後援：一般社団法人 国際栄養食品協会

13:00 開会

宮澤陽夫(GPS会長、東北大学教授) Prof. Teruo Miyazawa (GPS Chair, Tohoku University)

GPS 設立の目的とファイトニュートリエントの健康増進への応用

Purpose of GPS establishment and possibility of utilizing phytonutrients for public health

江崎禎英(経済産業省ヘルスケア産業課長) Mr. Yoshihide Esaki (Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) of the Government of Japan)

超高齢化社会における次世代ヘルスケア産業の目的

Aim of next generation of health-care industries for super-aging society

山本(前田)万里(農林水産省 国立研究開発法人 農業・食品産業総合技術研究機構 食品研究部門 食品健康機能研究領域長)Dr. Mari Maeda-Yamamoto (National Agriculture and Food Research Organization (NARO), Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) of the Government of Japan)

農産物中に見いだされた機能性成分とその健康効果

Phytonutrients found in the fresh foods and their health benefits

キース・ランドルフ(アムウェイグローバルディスカバリーR&D フェロー) Dr. Keith Randolph (Fellow, Amway Global Discovery R&D)

植物性食物中心の食事パターン、慢性疾患のリスクおよび健康長寿 – 植物性栄養素と健康増進についての新しい考え方

Plant based dietary patterns, chronic disease risk & healthy longevity – An emerging paradigm for phytonutrients and health promotion

パネル討論会(発表者とGPS 委員による)

Panel Discussion by all attended Committee members

15:00 終了

GPS 会長: 宮澤陽夫(GPS 会長、東北大学教授)
Professor Teruo Miyazawa, Ph.D. (Tohoku University)

GPS 科学委員: 12 名の世界的な権威(アルファベット順)
Globally recognized around 12 leading scientists from the world in the following (alphabetical order):

- Ana Rita Bilia (University of Florence, Italy)
- Jan Frank (University in Hohenheim, Germany)
- Naomi K. Fukagawa (USDA Beltsville Human Nutrition Research Center, USA)
- Elizabeth J. Johnson (Tufts University, USA)
- Hisanori Kato (Tokyo University, Japan)
- Oran Kwon (Ewha Womans University, Korea)
- Chizuru Nishida (WHO, Switzerland)
- V. Prakash (CSIR, India)
- Leandros Skaltounis (University of Athen, Greek)
- Viktor Tutelyan (Institute of Nutrition, Russia)
- Yuxein Yang (CNS, China)
- Gary Williamson (University of Leeds, UK)



■お問い合わせ先■

AIFN(アイファン)事務局

〒163-1320 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー モバフ20F

TEL:03-6365-0424(平日 10:00~17:00) FAX:03-3348-7515

<http://www.aifn.org>

シンポジウム参加申込書

『国際ファイトニュートリエント学会』

締切り日：2016年11月28日(月)

フリガナ

参加申込代表者名：_____

会社名：_____

_____ AIFN 会員 非会員 どちらかを○で囲んで下さい。

所属：_____

役職：_____

TEL：_____

FAX：_____

EMAIL：_____

シンポジウム(参加費無料)

(複数名でお申し込みの際は下記にご記入下さい。)

参加者氏名 (フリガナ)	所属 (部署名等)

宛先 E-mail: info@aifn.org

FAX: 03-3348-7515

AIFN 事務局